

11月30日(土)に、「ザ・チャレンジ大歳 ふるさとウォッチング」を開催しました。これは、ふるさと大歳の歴史に触れ、子どもたちが大歳をもっと知り、もっと好きになってくれることを願って、青少協が企画したものです。

子どもと保護者が一緒になって、ウォークラリー形式で大歳の街を歩き、大歳の歴史や地理に触れる楽しい1日となりました。現地で説明をしていただいたのは大歳史談会の方々です。ゴール後は、大歳元気わくわくクラブの方々のご協力で、豚汁などのお昼ご飯をいただきました。

ほぼ中間点の、交流列車おおとしで、途中休憩。一休み、一休み。



ザ・チャレンジ大歳 ふるさとウォッチング

2013.11.30 sat

開会式。前日までぐずっていた天気もすっかりよくなり、晩秋の美しい空が、参加者を迎えてくれました。



のどかな風景の中を、気持ちよく歩きます。1班の人数は、5~6人程度。秋の1日、のんびりと田んぼの風景を見ながら歩くのもいいものです。



ここまで、水がきたんだよ。



チェックポイントは、ぜんぶで13カ所。それぞれのポイントで、時間を記録してチェックポイントにまつわる歴史をお勉強します。



「おなかすいたあ」「はい、豚汁どうぞ。」「いただきます」…たっぷり歩いて勉強した後の、お楽しみです。

大歳キッズフェスティバル 平成25年7月27日(土)～28日(日)

恒例の大歳キッズフェスティバルは、服を着ての水泳や応急処置や救急法など、災害時の対応について学びました。晩御飯の準備も子どもたちが行い、昨年は工事のため実施できなかった「夜の学校探検」も実施。5、6年生120名以上の児童が参加しました。



ペットボトルをしっかり抱えて、あわてず静かに浮くことがコツです。



「けがをした人は、毛布を使って運ぶことができます」

災害時の サバイバル 訓練



食事作り
メニュー
はカレー



体育館を雑巾で駆け抜けるレース、名付けて「Z1グランプリ」を開催しました。床がずいぶんきれいになりました。

夜の イベント



毎年恒例のナイトプールです。

その他の青少年健全育成協議会の主な活動<平成25年度>

- 総会 H24 事業報告・決算報告、H25 事業計画等 (5月30日)
- 大歳地区内の危険個所の点検及び草刈 (7月13日)
- 「子ども110番の家」のぼり配布 随時
- 大歳キッズフェスティバル (7月27日～28日)
- 夜間パトロール (8月10日、24日、31日)
- 大歳ウォッチング (11月30日)
- 子ども将棋教室 第1、2、3、5土曜日など

※ 上記のほか、子どもの安全に関する取組、健全育成にかかわる活動をされる各団体への助成なども行っています。

青少協だより

平成26年1月1日

第48号

大歳地区青少年健全育成協議会

会長 馬越 帝介

子どもたちを励まそう！誉めて育てよう！

大歳地区青少年健全育成協議会長 馬越 帝介

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

(中略)

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

(中略)

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



災害時の救助訓練
(7.27 キッズフェスティバル)

この詩はドロシー・ロー・ノルトの著書『子どもが育つ魔法の言葉』の中の『子は親の鏡』という題名の詩です。

家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点です。

一方、地域とのつながりの希薄化や、親が身近な人から子育てを学んだり助け合う機会の減少など、子育てや家庭教育を支える地域環境が大きく変化しています。

子どもたちは、将来の地域を支える「社会の宝」です。子育てはみんなが主役です。このメッセージが教育関係機関はもとより、子育て中の保護者、地域で子育てを支えてくださる方々、PTAや社会教育に携わる方々、そして地域住民すべてに広がり、地域で様々な取組が活発に展開されていくことを願っています

青少協は子ども達を健やかに育む地域づくりの一助を担えるよう活動してまいりますので、皆様方のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。



親子と一緒に、歴史散歩
「ザ・チャレンジ大歳 ふるさとウォッチング」